

JL491X エアーボールFX-140/160 組立手順

このたびはエアールをお買い上げいただきありがとうございます。

組み立てる前に下記を良く読んで組立をしてください。

箱に入っているパーツを確認します。(1~5と+ナベビス、スプリングWは組まれています)

NO	品番	品名	数	税込価格/1個
1	JL401X-MP	メインパイプホルトトップ付フラック45	1	17,640
2	JL4000-XP	サイドパイプ先端パーツ付フラック右	1	11,550
3	JL4001-XP	サイドパイプ先端パーツ付フラック左	1	11,550
4	JL442	ALジョイント-A	2	1,575
5	JL443X	ALジョイント-BX	1	3,150
6	JL491-01	FX用サイドベース	2	3,675
7	JL449-50X	連結ボウル着脱ベースプレート(黒)	1	3,150
8	JL449X	連結ボウルアルマイト付き45用	1	3,675

パイプに付いている交換パーツについてはお問合せください。

NO	品番	品名	数	税込価格/1個
9	P06-08	M8ワッシャー	8	9
10	P05-08	M8スプリングワッシャー	8	9
11	P04-8-35	ホルトM8×35	6	36
12	P15-08	M8ナイロナット	2	105
13	P06-081	M8ナイロワッシャー	8	15
14	P01-8-25	M8×25+ナベ	2	42
15	P02-6-40	M6×40+皿	2	40
16	P06-06	M6ワッシャー	2	5
17	P15-06	M6ナイロN	2	65
18	P06-10	M10ワッシャー	3	21
19	JL454	ラバークッション	2	630
20	P17-16	タンゲピンM8-55	1	210
21	6779	SPリング(30)	1	31

価格は随時変更される場合がありますのでご了承下さい。

使用する工具

スパナ10.12.13.14.17.番もしくはモンキーレンチ +ドライバー ドリル 6.1 8.1 白マーカーペン

組立をする前に完成写真をよく見て、全体のイメージを頭の中で作ってください。

各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。

各穴部分にはシリコン材を着けてください。

組立手順

1. FX用サイドベースの取付け

A. シートを取り外し後部取手を取り外します、この時ナットを下に落とさぬよう気をつけてください

B. サイドベースの3個の穴の一番後ろを艇体の穴に合せホルトM8-35、純正ナットにて仮固定します。

左側サイドベースを艇体内側の壁に当てた位置で、右側サイドベースはホルトの他に純正パーツバッテリーキャップを差し込んだ状態で、サイドベース前側の穴にドリルで艇体に8.1ミリの穴を開けます。

穴開け位置注意！取付後ヒッチの首部が艇体に当たらないように位置決めしてください。

次に穴を開けた状態で取手をかぶせて艇体内側(裏側エンジンルーム内)よりその穴の部分から白いマーカーペン等で

取手裏面に穴位置をマーキングし、マーキングした穴位置にドリルにて8.1ミリの穴を開けます。

最後に仮固定したホルトを外し、艇体とサイドベースと取手の穴を合せホルトにて固定し取付完了です。

ホルトからの順番

サイドベース後穴:上からホルトM8-35、スプリングワッシャー、ワッシャー、取っ手、サイドプレート、M8ナイロワッシャー2枚重ね、艇体、純正M8ワッシャー、純正M8ナイロナット

サイドベース前穴:上からホルトM8-35、スプリングワッシャー、ワッシャー、取っ手、サイドプレート、M8ナイロワッシャー2枚重ね、艇体、M8ワッシャー、M8ナイロナット

取っ手前穴:上からホルトM8-35、スプリングワッシャー、ワッシャー、取っ手、艇体、純正M8ワッシャー、純正M8ナイロナット

とに使用するM8ナイロワッシャーは艇体が曲面なためプレートを取り付ける際に必要なものです。

シート用ジョイントホルトと艇体の間にシートがきちんと締るようにM10ワッシャーをレベル合せスベラーとして1枚から3枚入れてください。

プレート装着後、シートをカチッ！と音がするまでしっかり固定してください。

注)長時間エンジンをかけたまま横転してますと、リアバスケット(箱)に水が浸入する恐れがありますので復元しましたら、すみやかに確認をし排水してください。

2. 連結ボウル着脱ベースプレートの取付け

C 艇のデッキ後端から約87ミリのところにベース後端を置き位置を決め着脱ベースプレートを押し当てマーカーペンで

ホルトを仮設置し垂直かどうか確認してください

ドリル(刃6.1ミリ)で穴を明け、回りのバリを取り除き連結ボウルベースを上から皿ビス、下からM6ワッシャー、M6ナイロナットで締めます。

最後にサイドパイプにラバークッションを通しヒッチボルトへクイックヒッチカバーを付けて

メインパイプ下部にタンゲピンとSPリングを使って連結ボウルを取付します。

その連結ボウルを連結ボウル着脱ベースプレートに差し込みロックピンをスライドさせて固定します。

ロックピンは最後カチッ！と音がするまでスライド(差し込んで)してください。

注. ALジョイントの部分の+ナベビス頭が上側にくる向きにサイドパイプを付けてください。

PWC本体のメーカーによる艇体変更があった場合は取付できない場合があります。

装着等、不具合が生じた場合はお買い求めの販売店様へご連絡ください。

使用上の注意

ウェイクボード以外は絶対にトローリングしないでください、破損の原因になります。

添付してあります取扱注意をよくお読みください。

トローリングをする前に必ずネジ、ボルト類の点検、締め直しをしてください、緩んだまま使用しますと艇体等破損の原因になります。

トローリングをしない時は安全のため必ずエアール本体をはずして走行してください。

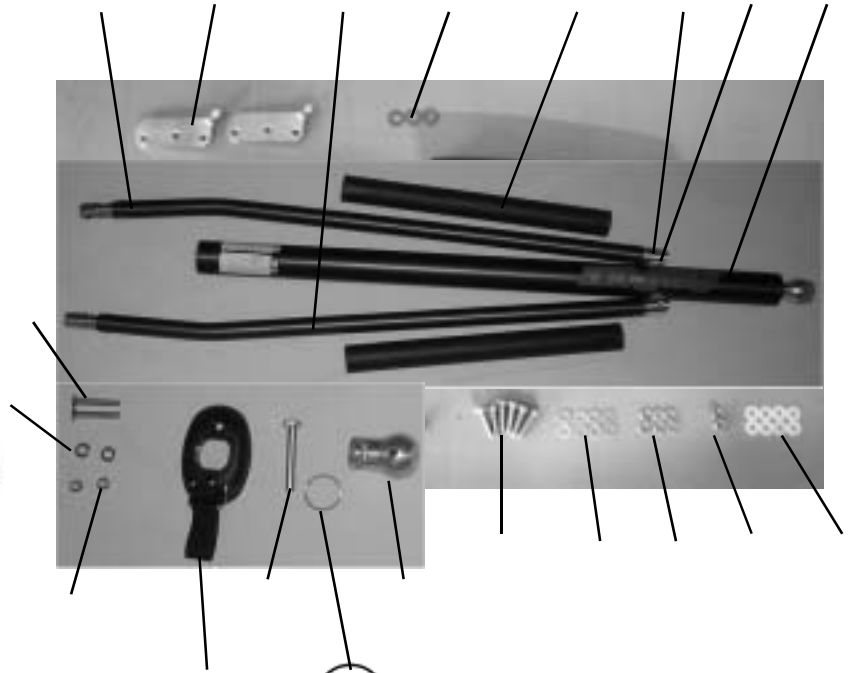
トローリング中は、複数名乗員し後方(ボーダー等)の安全を確認してご使用ください。

艇体の肉厚が薄い艇は取付の際注意してください艇体にヒビが入る恐れがあります、その際は使用をやめてください。

第三者へエアールの転売または譲る際は必ずこの取扱説明書、注意事項書等も一緒に添付してください。



完成写真



21

ウェイクボード以外は絶対にトーイングしないでください！破損の原因になります。
 その他使用上の注意をご確認ください。

A シートと取っ手を外します。

B 後の穴にボルトで仮固定します。

右側はボルトと純正パーツバッテリーキャップも差込み仮固定します。

前側の穴にドリルで艇体に8.1ミリの穴を開けます。(左右)
 穴開け位置注意！取付後ヒッチの首部が艇体に当たらないように位置決めしてください。

艇の後端から約87ミリの中央部のところにベース後端を置き位置決めします。

ドリルにて6.1ミリ穴を開け取付します。(写真は他艇イメージ)

ジョイントボルトと艇体の間にM10ワッシャーをレベル合せとして1枚~3枚入れる。

艇体内側(裏側エンジンルーム)より白いマーカーペンで開けた穴位置を取手裏面にマーキングします。

マーキングの穴位置に8.1ミリで穴を開けて、最後に取っ手、サイドベース、艇体を下記順番にて固定します。

ボルト等パーツ取付の順番

-
- ボルトM8-35
スプリングワッシャー
ワッシャー
取っ手
サイドプレート
M8ナイロンワッシャー-2枚
艇体
ヤマハ純正M8ワッシャー
ヤマハ純正M8ナイロンナット
 - ボルトM8-35
スプリングワッシャー
ワッシャー
取っ手
サイドプレート
M8ナイロンワッシャー-2枚
艇体
M8ワッシャー
M8ナイロンナット
 - ボルトM8-35
スプリングワッシャー
ワッシャー
取っ手
艇体
ヤマハ純正M8ワッシャー
ヤマハ純正M8ナイロンナット

艇体取付パーツですので使用している間にネジ、ボルト等のゆるみが生じ、そのまま使用しますと艇体にヒビがはいりますので必ず点検し、ゆるんだ際は増し締めをしてください。

艇体の老化によりポール取付部にヒビ損傷等がでる場合がありますあらかじめご了承ください。

このポールではバナナボート、スキービスケツト、PWC等ウェイクボード以外は絶対にトーイングしないでください。艇体やポールが破損します。

万一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。上記についてご不明の点、取付について不安な方はお買い求めの販売店までお問い合わせください。
(有)ファクトリーゼロ

AIR POLE シール取扱

横長の「AIR POLE」シールはサイドパイプにラバークッションを通した後に完成写真のようにお貼りください。

貼った後、1日間は使用しないでください、剥がれやすくなります。



取扱上の注意事項

ご使用前に必ず熟読しお守りください！ 取扱説明書、パーツ表等は大切に保管してください。



バナナボート、ビスケツ、ジェット等ウェイクボード以外は絶対にトーイングしないでください、破損の原因になります。



艇体側各取付部にガタツキが生じた場合は即座にトーイングを中止しボルト、ナット等の増し締めをしてください、そのまま使用しますと破損の原因になります。



トーイング中は、乗員定員内にて複数乗員しボーダー等後方の安全を確認してご使用ください。



サイドパイプ式のラバークッションはトーイング中、衝撃等でズれることがありますので必ずパイプ部を握ってください



サイドパイプ式ではトーイング中クイックカプラーに触れないよう注意してください、万一カプラーが外れますと艇体が壊れる恐れがあります。

トーイングをする前に必ずネジ、ボルト類の点検、締め直しをしてください、緩んだまま使用しますと艇体等破損の原因になります。またパイプ取り付け部のピンやカプラーが(半がかりでなく)正しくしっかり装着されているか確認してください。

艇体に取り付し試走後、必ず各部ネジ、ボルト類を確認をしてください。

トーイングをしない時は安全のため必ずエアール本体をはずして走行してください。

ポール脱着後は艇体側各取付凸部にご注意ください。

メインパイプやヒッチポールベース等にジェットランチャー等のランチングフック、ロープ等は絶対にかけないでください。

ケガ等防止のためドライバー、ボーダー等、乗船時は必ずライフジャケット、グローブ&ブーツを着用の上ご使用ください。

プレート式ではメインポールを外している時、絶対にベースに手をかけないでください、曲がる場合があります。

ポールの装着、未装着にかかわらず艇が転倒した際は水が艇内に浸入します、すみやかにメーカー指示通りに艇を復元し帰港してください。

ご使用後は各部真水で洗い、よく拭いてから保管してください。

定期的エアール各部が磨耗していないか等を確認して、磨耗していた時はすみやかに部品を交換してください。そのまま使用しますと事故、破損等の原因になります。

万一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。

不明な点、その他お問い合わせありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。